

1月24日（水）悩み

「人生はニャンとかなる」という本を開いたら、「そんなに悩むこと？」というページに当たりました。このページには、こんな話が載っています。てが



世界ではじめて活版印刷を発明したのはグーテンベルグという人です。それまでは、本は、一冊ずつ手書きで写していたのです。活版印刷を使えば、本を簡単に印刷できて、たくさんの人に読んでももらえることになります。活版印刷を発明したグーテンベルグは、この大発明をしばらく隠していました。それは、つまらない本も簡単に印刷できてしまうことがとても不安だったからです。とても長いこと、この発明を公表するか、悩んだそうです。悩みに悩んだ末に、この活版印刷を公開し、それからは世界中で使われ、文明の発展に大きな役割を果たすことになりました。

どんなことにも不安はつきもの。何が起きるかを悩むよりも、まずはやってみて、それから考えた方がよい、というお話です。